

●第87回日本生理学会大会報告（事業概要）

大会長：佐々木和彦（岩手医科大学医学部生理学講座
神経・筋・感覚器生理学分野）

副大会長：久保川学（同 医学部生理学講座器官制御
生理学分野）

副大会長：佐原資謹（同 歯学部口腔機能構造学講座
口腔生理学分野）

プログラム委員長：久保川学

事務局長：木村真吾（同 医学部生理学講座神経・
筋・感覚器生理学分野）

会期：2010年5月19日～21日

会場：盛岡市民文化ホール（マリオス）・いわて県民
情報交流センター（アイーナ）

盛岡での大会は第49回大会（昭和47年，三田俊定，
八木捨四，高下弘夫当番幹事）以来2度目，38年ぶり
の開催となりました。第85回東京大会，第86回京都
（IUPS）大会の方針を受け継ぎ，またこれまでIUPS
大会に向けて推進されてきた大会の英語化と他の研究
分野との交流，named lectureの継続などを念頭にお
いて大会を企画いたしました。

IUPS開催の翌年であることや開催時期等を考える
と参加者が例年より少ないことが心配されましたが，
会員の皆様呼びかけた結果，多くの方に参加いた
できました。大会本部としては企画シンポジウムに加
えてシンポジウムテーマの公募を行い，シンポジウムの
数を多くすることで多くの方々の口演発表を心がけま
した。その結果，企画シンポジウム29件，公募シンポ
ジウム19件，計51件となりました。また，演題登録
方法を工夫して一般演題の中からも各シンポジウムの
演題としての採用を試みた結果，16演題が選ばれま
した。さらに，海外からの参加者にはトラベルグラント
をもうけて参加の促進を図りました結果，8件が選ば
れました。生理学会大会では初めての試みとして，参
加登録の簡略化や海外からの参加登録を容易にする目
的で大会ホームページからの参加登録方法を採用しま
したが，若干の問題点も判明し，今後も引き続き工夫
が必要となりました。大会当日の参加者からはシンポ
ジウムの数も多く盛況である等のご感想を頂きました。

開催日間近まで予算や運営の心配をいたしました
が，会員の皆様をはじめ，大学OB・同門会，業者の皆
様方から種々ご支援を頂いたことにより開催にこぎつ

けることができました。皆様のご支援にこの場をお借
りして心からお礼申し上げます。また，当日は特に大
きな混乱や苦情もなく無事に終了しましたことは，参
加者各位の温かいご理解とご協力の賜と厚くお礼申し
上げます。今大会運営を振り返り，主な項目を以下に
簡単に報告致します。

1. 大会参加者数

事前登録者数：1,026名

当日参加者数：188名

参加者総数：1,214名

（この内非会員シンポジスト等：約100名，海外から
の参加講演者27名）

2. 発表演題数

特別講演：4演題

記念講演：3演題

シンポジウム：51（223演題）

一般口演発表：92演題

ポスター：389演題

合計：721演題

3. ランチョンセミナー：1（1演題）

4. 大会参加費

参加費は，正会員12,000円（事前登録），非会員
15,000円（事前登録）としました。また，学生会員につ
いては大学院生博士課程5,000円，大学院生修士課程
3,000円，学部学生（演題発表者）の参加費を3,000
円としました。非会員のシンポジストについては参加
費を無料としました。

5. 大会収支

収入28,990,314円

（内訳）参加費等11,758,000円，大会収入（機器展示・
広告・ランチョン等）10,287,500円，一般社団法人日
本生理学会借入1,000,000円，寄付及び自治体・財団助
成等5,944,814円

支出28,990,314円

（内訳）事前準備費（ホームページ/参加登録/抄録処
理費）2,649,098円，会場費2,823,640円，運営費（会場

設営費・機材・人件費・会議・通信等)19,354,886 円,
招聘関係費 2,184,217 円, トラベル Grant 832,000
円, 日本生理学会借入返済 1,000,000 円, 消費税納付

22,000 円, 法人税および住民税納付 80,000 円 剰余金
44,473 円